

今後の水稻の水管理に関する緊急情報

令和5年8月21日

三朝町

JA 鳥取中央 中央営農センター
倉吉農業改良普及所

水稻栽培での節水に取り組みましょう！

可能であれば、以下の対応によって、少ない水を有効に活用しましょう！

- 1 まずは堰や水路の破損がないか、畦が崩れていないかを確認しましょう。
- 2 身の安全に十分注意して、可能な限り水路の清掃、泥上げを行いましょ。
- 3 畦が破損して漏水する場合は、土のうや畦シートで補修しましょ。
- 4 雨水をためて活用するために、入排水口や漏水部分を確実に止めましょ。
- 5 排水溝等で水位が確保できる場合は、ポンプアップして入水しましょ。

穂揃い期以降、水稻は多くの水を必要としません

水稻栽培の節水の目安表

生育段階		用水の 必要度	節水時の 土壌水分の限度
穂ばらみ期	出穂前 15 日～出穂始	◎	飽和状態を保つ
出穂開花期	出穂始～出穂揃い	◎	黒湿りまでは可
登熟前期	出穂後 20 日頃まで	○	(手で握れば土がだんご状となる程度)
登熟後期	出穂後 20 日～落水期	△	黒乾きまでは可 白乾きは不可

注1) 用水の必要度 ◎：大、○：中、△：少、▲：微 を示す。

注2) 土壌水分は、水稻の生育収量に大きな影響を与えないと考えられる最低の土壌水分である。